

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		611-01-05		
事務事業名		市民生涯学習講座開催事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)		
				連絡先		072-952-2751		
担当部署名		陵南の森公民館		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	施策目標		6		歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち	款	10	教育費
	施策		1		生涯学習	項	5	社会教育費
	施策の方向		1		生涯学習の機会と内容の充実	目	5	公民館運営費
事業の概要	対象 (誰を・何を)		生涯学習を希望する市民、在勤者、在学者					
	目的 (どうしたいか)		対象者が生涯学習を行う中で本人の個性や能力を伸ばし、自己実現や問題解決につなげられるようにする。最終的には、経験豊かになった対象者が新しいコミュニティ形成を促すため、場や機会を提供する。					
	手段 (事業内容)		多種多様な講座や教室を開催し、グループ育成を意識した事業の展開をする。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】841千円 内訳:委員報酬 21千円 講師謝礼 730千円 消耗品費 30千円 食糧費 7千円 教材費 24千円 他	
当初予算額	事業費	1,834	1,521	1,516		
決算額	事業費	780	841	—		
	特定財源等	167	227	—		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	市民生涯学習講座、子ども企画及び共催事業回数	単位	回	
指標の説明	1年間で、開催した講座回数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		70	70	70
実績		30	54	—

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	市民生涯学習講座、子ども企画及び共催事業受講者数	単位	人	
指標の説明	1年間で、開講した講座受講者数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		900	900	900
実績		464	331	—

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいのか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 市内唯一の公民館として、市民ニーズに対応した各種講座を企画し、生涯学習の場の提供を提供するとともに、新しいコミュニティ形成の場となっている。 *新型コロナウイルス感染拡大に伴い、臨時休館となっている期間があったため、利用人数は減になっている。		(令和4年度以後の事業実施への改善内容) 事業の目的達成のため、内容の充実を図り、講座開講の積極的な周知を行い、受講の促進に努めたい。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		612-01-01	
事務事業名		生涯学習自主活動促進事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		072-952-2751	
担当部署名		陵南の森公民館		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち		款	10	教育費
	施策	1	生涯学習		項	5	社会教育費
	施策の方向	2	生涯学習を支える環境づくり		目	5	公民館運営費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	生涯学習自主的学習グループ、陵南の森公民館グループ連絡協議会					
	目的 (どうしたいか)	対象グループが自主的な生涯学習活動をし、市民誰もがその活動に参加出来るよう機会の提供をする。加えて陵南の森公民館グループ連絡協議会のグループ相互支援や市民交流活動の機会の提供をする。					
	手段 (事業内容)	対象グループへの生涯学習活動支援をするために、公民館が登録認定をする。陵南の森公民館グループ連絡協議会への活動の一助になるよう公民館が支援する。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】255千円 委員報酬 21千円 備品購入 44千円 助成金 190千円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	1,023	671	671		
決算額	事業費	349	255	—		
	特定財源等	0	0	—		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	市民生涯学習講座、子ども企画及び共催事業回数	単位	回	
指標の説明	1年間で、社会教育活動の為に施設を使用した団体の延べ件数。			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		2,400	2,400	2,400
実績		1,596	1,449	—

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	グループ(団体)の施設使用人数	単位	人	
指標の説明	1年間で、社会教育活動の為に施設を使用した延べ人数。			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		34,000	34,000	34,000
実績		19,002	15,625	—

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
市民の自主的な生涯学習活動の拠点となっており、活動の促進につながっている。また、市民が随時に参加可能であり、当該事業の実施意義は高いと考える。 *新型コロナウイルス感染拡大に伴い、臨時休館となっている期間があったため、利用人数は減になっている。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)
今後も当該事業の周知等により参加人数の促進に努める。